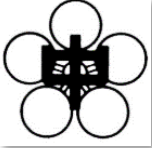


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一步前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
令和2年度 第17号
令和2年 12月 25日
校長 水谷 智子

二学期の終わりに

長かった二学期も今日で終わりです。今年度は、8月下旬から2学期が始まり、土曜授業日も月2回とし、2学期の授業日は93日（昨年度は80日）でした。さらに、水曜日の6校時も授業を行うなど授業時数の確保に努め、例年ならば運動会や白梅祭などの学校行事やその準備に当てていた時間も、授業に振り替えました。その結果、2学期の総時数は512時間となりました。この時間数は年間の総授業時数の約半分にあたります。本校では、学校再開以来これまで学校休業になることはなかったことで、順調に授業を進めることができました。皆様方のご協力の賜物と感謝しています。

11月下旬からは、9年（中3生）の全員を対象に、校長・副校長による面接練習を行いました。生徒にとっては「初めての面接体験」ということで、とても緊張する場面です。一方、面接する側の校長としては、「本校生徒の3年間の学びの成果」を確認する場でもあります。『あじみこしも』を合言葉に指導してきた「基本的生活習慣」は身についたでしょうか、各教科で指導してきた「思考力・判断力・表現力」を生かすことができているでしょうか、自己理解を深め、自分らしく進路を拓こうとする力は身につけているでしょうか、そして何より、本校の3年間で自己有用感・自己肯定感を育み、自尊感情がもてるようになったでしょうか。そんなことを考えながら、生徒一人ひとりと会話のキャッチボールをし、成長した姿を目の当たりにすることができた『面接練習』は、私にとっても貴重な時間でした。

例年ならば、「中学校生活で一番頑張ったこと」「中学校生活の一番の思い出」に「部活動」や「中3での行事」を挙げる生徒が多いのですが、今年はそれが少なかったように思います。その代わりに、「勉強を頑張った」という生徒が多くいました。「コロナで学校が休校になって、最初の頃は遊んでいたけれど、途中で「これではダメだ」と気づいて、自分で勉強をするようになった」と話す生徒もいました。『自学自習』の大切さに気づけたならば、それは大きな『一步前進』だったと思います。中には、「体育委員として白梅FESを自分たちで創ることができた」と力強く答える生徒もいました。「ゼロから創りあげた」という経験は何よりの自信になったことでしょう。コロナ禍においても、子どもたちが確かに成長していることを実感でき、嬉しく思いました。

12月に、8年（中2生）と7年（中1生）は、ボラセン（いたばし総合ボランティアセンター）主催の『思いをつなげようプロジェクト2020～今、わたしたちにできること～』に学年全員（計300名）で参加しました。区の福祉施設を利用されているお年寄りに「年賀状で思いをつなげよう！」という企画です。本校では、昨年度から、地域でのボランティア活動の推進に取り組んできましたが、今年は、校外に出かけて



人と触れ合うようなボランティア活動の機会がもてません。そこで、「対面がダメなら別の方法で気持ちを伝えよう、触れ合おう」という考えのもと、このボラセン企画に参加させていただくことにしました。外出することもままならず、人と会うことも制限されているお年寄りの皆さんに、中学生の元気を届けたいと思います。



手洗い・消毒・マスク着用・検温・ソーシャルディスタンス…… 本当に気を遣うことの多い2学期でした。生徒の皆さん、保護者の皆さん、教職員、それぞれがよく頑張った2学期だったと思います。いつもどおりにはできないけれど、コロナ禍だからこそできたこともあります。互いの頑張りを讃えつつ、医療従事者の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、明日からの冬季休業日を元気に過ごしてくれることを願っています。新しい年を笑顔で迎えられるように。

◎茶道体験学習(オリパラ教育)

12月17日・18日に9年(中3生)の茶道体験学習を行いました。この学習は、日本の伝統文化を学ぶオリパラ教育の一環として、一昨年度より取り入れたものです。今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、クラスを半分に分けて、和室での茶道講座と調理室での茶道実習という形で実施しました。

前半の茶道講座。本校の茶道部を指導していただいている表千家師範の鈴木美代子先生を講師にお招きし、和室での作法や茶道に関するお話を伺いました。生徒たちは、にじって和室に入り、正座をして指導を受けました。美しい姿勢やお辞儀の仕方を学び、落ち着いた佇まいの中で気持ちを整えました。また、先生は『一座建立』『一期一会』の意味、「おもてなしの心は相手に対する敬意を表すこと」なども、わかりやすく教えて下さいました。



後半は、お菓子のいただき方、お茶の点て方・飲み方を実習しました。お菓子は、仲宿にある「とくたけ」さんに作っていただいた練りきりでしたが、「このような本格的なお菓子は初めて」という生徒もたくさんいました。茶筌を使ってお茶を点てるのは難しかったようですが、どの生徒も皆、自分で点てたお茶を味わっていました。



今回は、お弟子さんたちが来校できなかったこともあり、茶道部の生徒たちが大活躍。事前指導用に、席入りの仕方やお菓子やお茶のいただき方についての動画を作成し、当日の実習の際、クラスメートのサポートをするなど、日頃の活動の成果を発揮しました。また、2日間に渡り、学校支援地域本部のボランティアの方々が、茶器の準備や洗浄・消毒等、生徒の学習を支援してくださいました。皆様方の熱意が一つになって、このような体験学習が実施できたことを嬉しく思います。今後も、この茶道体験学習が、本校の『東京2020レガシー』として継続されるよう願っています。

人生で初めて茶道を体験して、日本文化に対する見方が変化した。以前までは日本人であるにも関わらず、日本文化というものに身近に触れることができていなかった。しかし、今回の茶道体験で日本独自の文化に誇りを感じられた。普段あまりしない畳の上で長時間正座をすることやお菓子の食べ方など、今後役に立つであろう知識も学べて、とても有意義な時間を過ごせたと思う。

僕は茶道体験で一つ大切なことを学びました。それは文化の役割です。この体験の前は、「文化とは昔の人から受けつがれてきたものだが、僕には関係のないものだ」と思っていました。しかし、鈴木先生の体験談を聞き、「文化とは世界中の人と関わるためのもの、全員が持つものであり、引き継いでいくべきものだ」と思いました。

◎9年(中3生)創作ダンス発表会

12月19日(土)に9年女子保健体育で創作ダンス発表会を行いました。各グループが創作したダンスを発表した後、代表作品を全員で踊りました。皆で話し合いながら創った躍動感あふれるダンスを披露することができ、生徒たちも大満足でした。ご参観いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



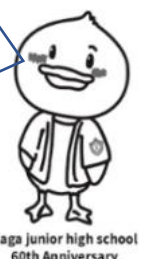
活躍の記録

- 身近な環境に関する標語及びポスター展
最優秀賞 中学生の部 N. R.
- 中学生の「税についての作文」
板橋納税貯蓄組合連合会
優秀賞 S. M. S. K. F. A.
入選 I. S.
- 板橋区中学生読書感想文コンクール
入選 I. M.

**** お知らせ ****

- 新型コロナウイルス感染症関連の冬季休業中における連絡については別紙(21日配布)の通りです。ホームページにも掲載しますのでご確認ください。
- 12月29日から1月3日までは学校閉庁日です。万一、緊急の連絡がある場合は、メールにてお願いします。
(☎ kagajh-sp03@ita.ed.jp)
- 3学期の始業式は1月5日(火)です。体調を整え、検温と健康観察をした後、正装で登校してください。

今年一年、本校の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。コロナ禍においても加賀中生らしく「一歩前進」した一年でした。皆様、良いお年をお迎えください。



Kaga junior high school
60th Anniversary